

交通安全を願って ゆるや傘を1000本贈呈

3月11日、熊本ドライビングスクール(KDS)から4月に入学する小学生に、ゆるや傘1000本が贈呈されました。毎年、この時期になると子どもたちの雨の日の交通安全を願い、同社からくまモンのイラストが付いた、ゆるや傘が寄贈されます。

KDSの永田佳子代表取締役は「特に雨の日はドライバーの皆さんに余裕を持った運転を心掛けてほしい」と話しました。傘は新入学児童に配布されます。



左から荒木市長、永田代表取締役

春の訪れを告げる 竹迫初市

3月3日、合志中央団地前で竹迫初市が開催されました。初市は毎年この時期に開かれ、春の訪れを告げる風物詩となっています。

ことしは小雨にもかかわらず、会場には多くの出店が立ち並びました。竹細工や名物の市飴などの販売、合志中学校吹奏楽部による演奏などが行なわれ、多くの家族連れや子どもたちが地域住民との交流を深めながら、春の一日を楽しんでいました。



多くの出店でにぎわいを見せる初市

子どもも大人も白熱 ユーパレス弁天 スリッパ卓球大会

2月11日、ユーパレス弁天でスリッパ卓球大会が開催されました。これはスリッパをラケット代わりにして、親子など子どもと大人のペアで卓球を行なうもので、ユーパレス弁天では初開催の大会です。

入賞者には牛肉などの賞品も用意され、試合は白熱。参加者は点が入るたびにペアでハイタッチし合ったり「どんまい」と声を掛け合ったりしながら、スリッパでの難しいラリーを楽しみました。



慣れないスリッパのラケットに悪戦苦闘

音楽の力でヴィーブル復活 バンドフェスティバル

2月10日、ヴィーブルで第7回バンドフェスティバルを開催し、約400人が観覧しました。

3年ぶりのヴィーブルでの開催となった今回は、合志中、西合志中、西合志南中、熊本高専、合志吹奏楽団「響」に加え、ゲストの専大玉名高校を迎えての豪華なステージとなりました。最後は、全員合奏で『Sing Sing Sing』『365歩のマーチ』を演奏し、観客と一体になったフィナーレで幕を閉じました。



フィナーレの全員合奏

民生児童委員と地域のつながりの場 見守り模擬訓練

2月20日、ヴィーブルで市民生委員児童委員協議会が主催する「みんなで見守りin合志～平成30年度見守り模擬訓練～」が開催され、県内の民生委員や市民など約400人が参加しました。

市と社会福祉協議会による本市の見守り活動の紹介のあと、民生委員による高齢者の消費者トラブル対応や児童の登下校見守りなどの創作劇が行なわれ、民生委員の日頃の活動について学ぶ機会になりました。



創作劇はおおいに盛り上がりました

みずき台区 宝くじ助成事業で公民館を整備

3月16日、みずき台区で宝くじ助成事業により整備された公民館の落成式が行なわれました。

この公民館整備は一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されるコミュニティ助成事業を活用したものです。落成式には市長や地域住民など関係者ら約50人が出席し完成を祝い、新たな地域活動の拠点としての活用を期待を寄せました。



みずき台区公民館

先月に続いて2回目の開催 外国にルーツのある人たちとの交流会

2月17日、ヴィーブルで、こうしねっこくらぶが地域住民と外国にルーツのある人たちとの交流を目的に日本食料理教室と交流会を開催しました。

当日は市内外から約50人が参加。午前の料理教室ではみんなで手巻きずしを作り、悪戦苦闘しながらも思い思いの具材を挟んで、のりを巻きました。午後は言葉を使わず身ぶり手ぶりだけで相手に意思を伝えるゲームを行ない、参加者は一日を通して楽しみました。



今後もさまざまな活動を通じて交流を深めていきます

プロの技術を学ぶ 合志南小でバスケットボールクリニック

2月16日、合志南小学校でJX-ENEOSバスケットボールクリニックが行なわれました。JXTGホールディングス株式会社(杉森努代表取締役社長)が社会貢献の一環として主催しているものです。

当日は元プロバスケットボール選手たちが同小のバスケットボール部員へドリブルの強化を中心に指導。児童たちは熱心にアドバイスを聞きながら、自分のプレーに取り込もうと練習に打ち込んでいました。



丁寧で実践的な指導に子どもたちも真剣